

連携・協働のカ・タ・チ

令和3年2月17日発行 福島県教育庁会津教育事務所



生徒を変えた！ ～長崎市立緑が丘中学校の取組②～

地域の「ありがとう」のシャワー

前号に引き続き、長崎市立緑が丘中学校のボランティア活動の取組を紹介します。

達成感を味わい、地域の方々と交流を深めた「ボランティアデー」

令和元年9月28日（土）に「ボランティアデー」として、生徒、教職員、保護者、地域が一体となり、公民館や公園の清掃、資源回収、交流会を行いました。この日のために、生徒会役員が自治会長さんたちと1学期から相談し、PTA役員の方々と話し合い、名簿を作り、計画を立ててきました。そして、地区に分かれた打合せを2回行いました。当日、生徒たちは意欲的に活動し、多くの方から喜ばれ「ありがとう」のシャワーをたくさんいただき、達成感を味わうことができました。



【公民館や公園等の清掃活動と資源回収の様子】



ボランティア活動後に、交流会を企画して、生徒と地域の方々が交流を深める地区がありました。

回収した資源で教室がいっぱいになりました！



【活動後の交流会の様子とたくさん集まった資源】

大きな成果を挙げることができたボランティア活動

生徒たちは、それぞれの地域でとても意欲的にボランティア活動に取り組み、大きな成果を挙げることができました。そして、その後の高校入試の面接練習では、多くの生徒が「将来、人の役に立ちたい」など前向きに語るようになりました。また、2018年度の資源回収では、前年度の約2倍に当たる金額を換金することができました。

長崎市立緑が丘中学校の取組(成果)

- ☆「生徒はよく頑張り、元気をもらった」「挨拶をよくしてくれる」などの声が聞かれるようになった。
- ☆地域の方から感謝され、必要とされていることに生徒は嬉しさを感じている。
- ☆生徒の自己有用感や自己肯定感が高まった。
- ☆地域との協働活動により、生徒の地域に対する意識が高まった。



自己肯定感の向上が見られた!

長崎市立緑が丘中学校の取組(成果)

高校入試の面接練習で・・・

将来、人の役に立ちたい!

誰かのためにできることをしたい!

人から信頼される生き方をしたい!



教育課程に「ボランティア精神を育む教育活動」

「ボランティアデー」の活動を学校行事として教育課程に位置付け、9月の最終土曜日に全校生徒で取り組むことにしました。また、ボランティア活動としてではなく、「ボランティア精神を育む教育活動」として学校全体で取り組むために「特別活動(生徒会活動)」、「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間」において、教科等横断的な視点で「カリキュラムマネジメント」を行いました。最終的に学校と社会が連携・協働して子どもたちを育てていく「社会に開かれた教育課程」の位置付けの土台ができました。

緑が丘中学校の取組から考えたこと・・・

ボランティア活動を通して、多くの生徒が、達成感を味わうとともに、「ありがとう」の言葉がうれしかったので、また取り組みたいという思いを持ちました。

生徒たちはきっと、誰かの役に立つ喜びを感じ、誰かを支えられる存在として、自分の成長を実感したのではないかと思います。



長崎市立緑が丘中学校の取組から考えたこと

心が芯から喜ぶ時・・・

誰かの役に立てたと感じた時

成長とは・・・

支えてもらう存在から
誰かを支えられる存在になること

こんなことも! 校内だけに閉じない

緑が丘中学校は、令和3年に創立60周年を迎えます。「創立60周年記念ロゴマーク」の募集を、校内だけに閉じずに、地域にも広く呼びかけています。記念ロゴマークは、記念事業グッズやPTAの広報紙等、さまざまな場面で使用されるとのことです。

“地域と共に緑の風を送り合う”
長崎市立緑が丘中学校